

小学校 第5学年 国語科 学習指導案

埼玉県さいたま市立三橋小学校
教諭 板垣 貴斗

単元名

事例と解説をもとに筆者の考えを読みとこう
『言葉と事実』（9時間）／『ことなる見方』含む

単元のねらい

事例と解説をもとに筆者の考えを読み解くことができる。

本時のねらい

事例と解説を正確に読み取り、その効果について考えることができる。

指導時期

6月

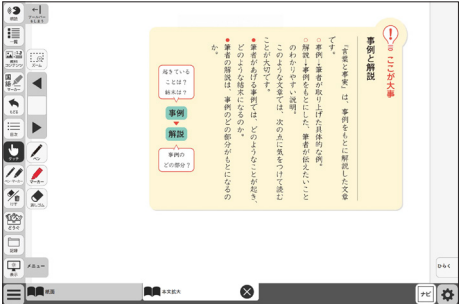
指導者用デジタル教科書（教材）活用の意図・目的

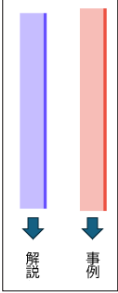
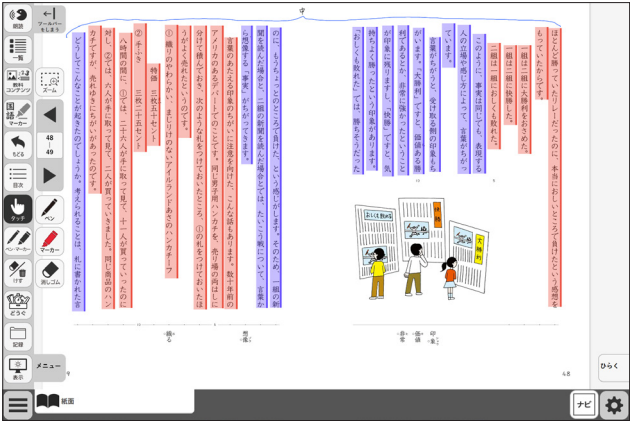
本単元の学習を進めるにあたり、私は以下の二つの理由から、「指導者用デジタル教科書（教材）」を活用したいと考えた。

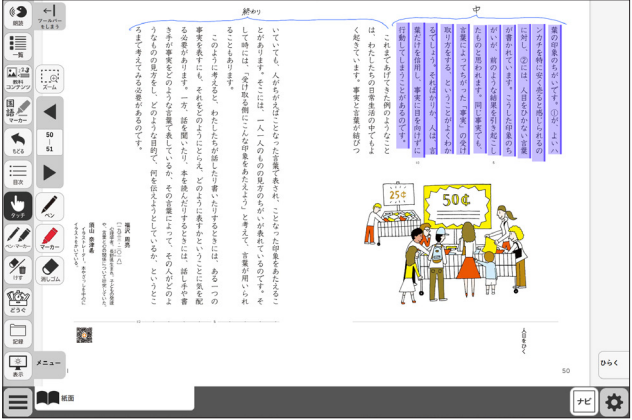
一つめは、「文中の事例と解説について確認しやすいから」である。プロジェクターに投影した「指導者用デジタル教科書（教材）」の本文に、「国語マーカー」を使って事例と解説をそれぞれ色分けしていくことで、事例と解説はいくつあるか、それぞれどのような内容なのかを確認していきたいと考えた。

二つめは、「文章構成の検討がしやすいから」である。筆者が自分の考えをより適切に伝えられるよう、事例と解説を「始め・中・終わり」のどこで、どのような目的で用いているのか、色分けして確認した「指導者用デジタル教科書（教材）」を児童が確認しながら考えられるようにしていきたい。

本時（第3時）の展開

	活動内容	デジタル教科書・教材の活用
導入	●「指導者用デジタル教科書（教材）」の初期画面を開いてコンテンツを起動する。 ●前時では『言葉と事実』を「始め・中・終わり」に分けたことを確認する。 筆者はなぜ文中に事例と解説を用いているのだろう。 ●なぜ筆者は事例と解説を用いているのか、予想する。	 「本文拡大」の活用 ●事例と解説について、プロジェクターで「指導者用デジタル教科書（教材）」55ページの「ここが大事」を映し、確認する。 

	活動内容	デジタル教科書・教材の活用
展開	「始め」について考える T：「始め」には事例と解説が一つずつ書かれています。各グループに配られた教科書の本文が書かれたワークシートを読み、「事例」に赤線、「解説」に青線を引いてみましょう。 T：「始め」の事例はどこに書かれていますか。 C：46ページ2行め～5行めです。 T：どのような内容ですか。 C：「おおかみが来た。」と村の人たちにいつもそをついている少年が、本当におおかみが来た時に助けを求めても、誰も信じなかったという内容です。 T：解説はどこに書かれていますか。 C：46ページ6行め～47ページ1行めです。 T：解説で筆者は何を伝えたいのでしょうか。 C：言葉は事実と結びつけて使うことが大切だということです。	「国語マーカー」の活用 ●「国語マーカー」を活用し、「事例」に赤線、「解説」に青線を引くことで、全体で共有できるようにする。  
	「中」について考える T：「中」には事例と解説が二つずつ書かれています。それぞれ見つけ、線を引いてみましょう。 T：一つめの事例はどこに書かれていますか。 C：47ページ5行め～48ページ5行めです。 T：どのような内容ですか。 C：1組と2組のリレー対決で、1組が勝ったことを3人が学級新聞に書いた際、それぞれ異なる見出しになったという内容です。 T：この事例に対する解説はどこに書かれていますか。 C：48ページ6行め～49ページ3行めです。 T：解説で筆者は何を伝えたいのでしょうか。 C：事実は同じでも、表現する人の立場や感じ方によって、言葉が違ってくるとことを伝えたいのだと思います。 T：二つめの事例はどこに書かれていますか。 C：49ページ4行め～13行めです。 T：どのような内容ですか。 C：あるデパートで、違う内容の札がついた二つの同じハンカチを販売したところ、売れゆきに違いがあった、という内容です。 T：この事例に対する解説はどこに書かれていますか。 C：49ページ14行め～50ページ11行めです。 T：解説で筆者は何を伝えたいのでしょうか。 C：同じ事実でも、言葉によって違った事実の受け取り方をするとということです。	

	活動内容	デジタル教科書・教材の活用
展開	「終わり」について考える T：「終わり」に事例はありますか。 C：ないです。 T：事例はないということは、解説はあるでしょうか。 C：ないです。 T：「終わり」には、文章全体に対する筆者の主張が書かれているのですね。 事例と解説を用いる効果について考える T：事例と解説を用いて文章を構成することで、読み手にどのような効果があるでしょうか。 C：事例があると、読み手が具体的にイメージしやすいです。 C：解説があると、筆者が読み手に伝えたいことがさらにわかりやすくなります。	
まとめ	● 本時のまとめをする。 事例があると、読み手が具体的にイメージしやすい。解説があると、筆者が読み手に伝えたいことがさらにわかりやすくなる。	

指導者用デジタル教科書（教材）を活用したことで得られた効果

「国語マーカー」を活用して色分けした「指導者用デジタル教科書（教材）」をプロジェクターに投影することで、本文中の事例と解説を全体で確認することができた。また、事例と解説の効果について、児童が「指導者用デジタル教科書（教材）」のマーキングされた文章をもとに説明することもできた。